

臨床研究「茨城県における若年性認知症の有病率・生活実態把握」について

筑波大学附属病院精神科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

わが国の若年性認知症の有病者数は、平成 18 年度～20 年度に実施された全国調査によって 3.78 万人（18 歳～64 歳人口における 10 万対患者数は 47.6 人）と推計されている。しかし、同調査が実施されてからすでに 10 年の歳月が流れ、この間に若年性認知症に対する国民の意識は大きく変化した。また、若年性認知症に対する保健や医療、福祉、介護、生活支援、就労支援、家族支援などのサービス提供状況もこの間に大きく変化している。こうした変化は人々の若年性認知症への認識を高め、若年性認知症の有病率に影響を及ぼしている。わが国の今日の若年性認知症の有病率・有病者数を明らかにするとともに、若年性認知症の本人・家族介護者の生活実態を明らかにすることによって、今後のわが国の若年性認知症施策の策定・実施に資する基礎的な資料を得ることを目的とする。

② 研究対象者

2019 年 3 月 31 日までに茨城県内の医療・介護・障害関係の機関にかかった患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～平成 35 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

18 歳以上 65 歳未満の期間に発症した若年性認知症患者の受診や利用の可能性がある、茨城県内の医療・介護・障害関係等の機関の施設担当者を対象に若年性認知症患者の有無などについてアンケート調査を行う。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療記録（年齢、性別、生年月、発症年月、現在の処遇について）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

収集したデータは匿名化された上で、筑波大学から東京都健康長寿医療センター研究所に提供され、東京都健康長寿医療センター研究所が責任をもってパスワードをかけた PC で保管・管理する。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学内情報管理責任者：医学医療系臨床研究域 精神医学 太田深秀

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 医学医療系臨床研究域 精神医学	組織代表者：新井哲明
東京都健康長寿医療センター研究所	組織代表者：栗田圭一
大阪大学大学院医学系研究科・情報統合医学講座・精神医学分野	組織代表者：池田学
愛媛大学医学系研究科 地域健康システム看護学講座老年精神地域包括ケア学	組織代表者：谷向 知
新潟大学・脳研究所	組織代表者：池内 健
認知症介護研究・研修大府センター	組織代表者：小長谷陽子
山形大学・高次機能障害学	組織代表者：鈴木匡子
福島県立医科大学	組織代表者：川勝 忍
久留米大学医学研究科・バイオ統計センター	組織代表者：角間辰之

⑨ 問い合わせ連絡先

本試験の責任医師：新井哲明 (精神神経科・教授)

連絡先：筑波大学附属病院

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-3182 (場所、平日 9:00~17:00、精神神経科)